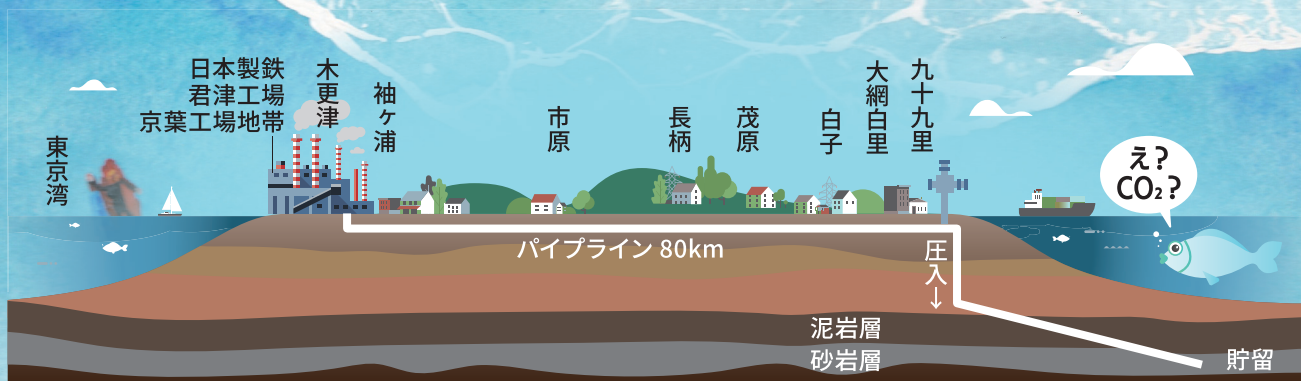


CO₂ 海に 埋めちゃっていいの？

首都圏 CCS 事業構想とは

日本製鉄君津工場などから排出される CO₂ を、房総半島を横断するパイプラインを通して運搬し、外房沖の海底地中に圧入・貯留する構想。



この計画は、日本製鉄、首都圏 CCS 株式会社 (INPEX と関東天然瓦斯開発の合併会社) によるもので、国の支援を受けて 2026 年度末までに事業化の投資判断される予定です。事業開始は 2030 年となっています。しかし、説明会の開催や情報公開が不十分で、多くの住民が計画を知らないまま進められようとしています。

どんな問題があるの？

1

回収する CO₂ は
排出量の
10 分の 1 程度

2

地震や
地盤変動による
漏洩の可能性

3

海洋環境
への影響
(漁業・生態系)

4

長期的な
安全性の
不確実性

5

莫大な
費用と税金の
投入

詳しくは裏面をご覧ください